



PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会

中国・四国予選 東広島CC (広島) 予選大会結果のお知らせ

< PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 中国・四国予選 >

◇2017年3月4日 (土) ◇天候：晴れ

◇広島・東広島CC (15-17歳男子6765ヤード、パー72ほかカテゴリー別)

◇出場83人

< 中国・四国予選 概況 >

15-17歳の部男子は、公受 (おおやけ) 将輝 (愛媛・帝京第五高2年) がイーブンパー72の好スコアで回り、2年連続トップ通過で西日本決勝大会 (4月1日・2日、佐賀・若木GC) に進んだ。昨年国体少年男子優勝の蝉川泰果 (たいが、大阪・興国高1年) は4オーバー76の3位で通過した。同女子は大西菜生 (香川・香川西高1年) が1オーバー73で回り、2年連続予選1位となった。13-14歳の部男子は竹内瑛信 (愛媛・内宮中2年) が2年連続で、同女子は寺岡沙弥香 (大阪・高槻第三中2年) がイーブンパー72の好スコアで、それぞれ西日本決勝大会に進出した。

西日本決勝大会でIMGA世界ジュニアゴルフ選手権 (7月、米国サンディエゴ) の西日本エリアの日本代表が決まる。

< 中国・四国予選 予選結果 >

西日本ブロック決勝の進出者は以下の通り。*敬称略

▽15-17歳男子

- 【1位】公受将輝 (愛媛・帝京第五高2年) =72
- 【2位】大嶋命 (岡山・関西高1年) =75
- 【3位】蝉川泰果 (大阪・興国高1年) =76
- 【4位】落合凌 (香川・高松北高1年) =77
- 【5位】大石敦也 (広島・井口台中3年) =77
- 【6位】細川淳矢 (広島・英数学館高1年) =78

▽同女子

- 【1位】大西菜生 (香川・香川西高1年) =73
- 【2位】小嶋裕希美 (福岡・沖学園1年) =74
- 【3位】高谷理央 (香川・香川西高1年) =75
- 【4位】山本彩乃 (山口・高川学園高1年) =77
- 【5位】山本唯加 (高知・明德義塾高1年) =78
- 【6位】中村優海 (山口・高川学園中2年) =80

▽13-14歳男子

- 【1位】竹内瑛信 (愛媛・内宮中2年) =75
- 【2位】河邊匠 (広島・松賀中2年) =76
- 【3位】山本悠平 (高知・明德義塾中1年) =77

▽同女子

- 【1位】寺岡沙弥香（大阪・高槻第三中2年）=72
- 【2位】徳安春奈（福岡・沖学園中1年）=80
- 【3位】山中麻緒（佐賀・城南中2年）=82
- 【4位】梅津真優美（山口・マシュー・C・ペリー中1年）=82
- 【5位】森田彩夏（香川・紫雲中1年）=86

▽11-12歳男子

- 【1位】佐藤慶季（広島・袋町小5年）=83
- 【2位】馬城颯士（広島・千田小5年）=83
- 【3位】竹内康晴（愛媛・和気小5年）=85

▽同女子

- 【1位】森愉生（岡山・老松小6年）=72
- 【2位】中村心（山口・大内南小5年）=81
- 【3位】安保寿美（広島・久松台小6年）=81
- 【4位】井ノ下愛華（広島・東西条小4年）=84

▽9-10歳男子

- 【1位】松井琳空海（愛媛・高津小4年）=82
- 【2位】篠原和樹（愛媛・川之江小3年）=85

▽同女子

- 【1位】菊田ひな（香川・さめぎ北小3年）=90

▽7-8歳男子

- 【1位】埜田朔天（広島・比治山小2年）=87
- 【2位】本田大凱（兵庫・城崎小1年）=98

▽同女子

- 【1位】龍本奈月（広島・安小2年）=83

（注）同スコアの順位は18番からのカウントバックによる。

中国・四国予選 ◇15-17歳の部男子◇3月4日◇広島・東広島CC（6765ヤード、パー72）

公受（おおやけ）将輝（愛媛・帝京第五高2年）が終盤の連続バーディーでイーブンパー72をマークし、トップで西日本決勝大会（4月1日・2日、佐賀・若木GC）に進んだ。2オーバーで迎えた16番パー5で第2打をグリーン奥のカラーまで運び、アプローチを寄せてバーディー。続く17番パー3では右手前6メートルを沈めて連続バーディーでイーブンに戻した。「最近ドライバーが暴れてしまう不安材料があったんですけど、きょうは何とかコースの中にボールがいてくれたのでよかった」と笑顔を見せた。昨年のこの大会でも1位でメダリストになったが、西日本決勝大会では10位と力を発揮できなかった。「悔しかった。その後から、精神状態をコントロールするために、メンタリストのD a i g oの本を読んだりして、だいぶ落ち着いてやるようになった」という。今年は「西日本決勝大会でリベンジして世界に行きたい」と意気込んでいる。

中国・四国予選 ◇15-17歳の部女子◇3月4日◇広島・東広島CC（6132ヤード、パー72）

大西菜生（香川・香川西高1年）が1オーバー73の好スコアをマークして、2年連続予選トップで西日本決勝大会（4月1日・2日、佐賀・若木GC）に駒を進めた。13番パー3で「7番アイアンをひっかけてしまって」とまさかの左OBでダブルボギー。3オーバーに後退したが、そこから盛り返した。15番で7メートルのバーディーパットを沈め、最終18番ではトップするミスでグリーンオーバーしたが、45ヤードほどをチップインのバーディーで締めた。長身で、昨年より1センチ伸びて身長は169センチに。「横にも大きくなった」と笑うが、飛距離もアップして平均260ヤードを飛ばす。「ゴルフノート（日記）で振り返ると、去年まではピンしか見ていなくて、無理してボギーやダボになっていた。今は後のプレーも考えてやるようにしています」という。昨年の西日本決勝大会は15位に終わった。「去年行けなかった米国に今年は絶対に行きます。持っている力を全部出し切りたい」と意欲を見せていた。

中国・四国予選 ◇11-12歳の部女子◇3月4日◇広島・東広島CC (5595ヤード、パー72)

森愉生（ゆい、岡山・老松小6年）がイーブンパー72の好スコアで回り、2年ぶり3度目の世界ジュニア出場に向けて、予選トップで西日本決勝大会（4月1日・2日、佐賀・若木GC）に進んだ。1番で2・5メートルを沈める幸先いいスタートを切り、2バーディー、2ボギーの内容に「パターの距離感が合ったので、パーを多くとれた」と振り返った。小6の1年間で身長が5センチ伸びて156センチになり、その分飛距離もドライバー平均230ヤードにアップした。パッティングの距離感を出すために「手で転がすイメージをしている」という。4月からは中学に進学して「体力をつけてゴルフに生かしたい」と、部活動で陸上の短距離をやりたいという。世界ジュニアでは13年7-8歳の部7位、15年9-10歳の部10位と、惜しくもシード権を逃してきた。「リベンジに行きたい」と、世界ジュニアを目指す。



写真

左上=15-17歳男子 公受将輝

右上=15-17歳女子 大西菜生

左下=11-12歳女子 森愉生

©IJGA2017